

里山・広葉樹林再生プロジェクト第5回推進連絡会議概要

1 開催日時及び場所

日時：令和5年1月24日（火）10：30～11：30

場所：林野庁管理課福利厚生室打合室・福島県農林水産部会議室
（WEB会議形式による開催）

2 出席委員

委員名簿のとおり

3 会議の概要

林野庁及び福島県より議事の説明を行ったのちに意見交換。主な発言は以下のとおり。

（福島県）

- ・再生プランについては、3つのモデル地域以外の12市町村において令和4年度に策定済である。令和5年度は250haの伐採を計画しているところである。
- ・福島県における今後の原木林再生については、森林組合をはじめとする林業事業体の活用が不可欠であり、市町村主体の事業発注により地域の林業労働力を最大限に活用していく必要がある。
- ・令和4年度の伐採・更新の進捗状況については、順次伐採を開始している。

（森林総合研究所）

- ・将来のきのこ原木の収穫期における幹部の放射性セシウム濃度を予測する手法の開発に取り組んでいる。
- ・ぼう芽枝の放射性物質の動態については、林野庁の実証事業の結果等から、伐採後2年目・3年目における放射性セシウム濃度は概ね減少傾向にあることなどが分かってきたところである。

（林野庁）

- ・広葉樹の利用拡大については、ほだ木、チップ以外の用途として建築用フローリング、集成フリー板、トラック床板の事例収集や試作品の作成・試験に取り組んでいるところである。
- ・今後は広葉樹の用途別の丸太の選別方法や基準、製品加工の歩留まりやコスト等の課題を整理しながら、関係者と連携しながら検討していく。

（以上）

里山・広葉樹林再生プロジェクト連絡会議委員名簿

氏 名	現 職
柳田 範久 <small>やなぎだ のりひさ</small>	福島県農林水産部次長（森林林業担当）【代理が出席】
丹治 俊宏 <small>たんじ としひろ</small>	福島県森林組合連合会代表理事専務
前田 洋 <small>まえだ ひろし</small>	福島県木材協同組合連合会専務理事【欠席】
木下 仁 <small>きのした ひとし</small>	林野庁森林整備部研究指導課長
塚田 直子 <small>つかだ なおこ</small>	林野庁林政部経営課特用林産対策室長

(敬称略)

【オブザーバー】

氏 名	現 職
篠宮 佳樹 <small>しのみや よしき</small>	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点長

(敬称略)